

普及誌「はくさん」(第 53 巻第 3 号)の発行について

1 趣旨

石川県白山自然保護センターでは、白山地域の自然・文化及び自然保護の正しい理解と普及を図るため、普及誌「はくさん」を発行(年 3 回)しています。

2 執筆・編集

執筆は、当センター職員をはじめ白山地域の調査・研究に携わる方々に依頼し、編集は当センターで行っています。

3 規格・印刷部数 A4 版 16 頁(カラー) 1,500 部

4 主な配布先

関係行政機関、図書館、博物館、中学、高校、大学のほか、一般の方々

5 内容

表紙 ブナオ山観察舎周辺のキュートな冬芽と葉痕たち

落葉広葉樹は冬が近づくにつれ、葉を落とし、その枝に冬芽という新しい芽を形成する。また、葉が大きい樹木では、葉が落ちた部分に葉痕という、動物や人の顔のような模様ができる。その形や様子について紹介。

文章:岩本華奈 イラスト:内藤恭子(当センター)

(1) 白山のササ刈り取り実験の 1 年後

白山の弥陀ヶ原でササ拡大により衰退した雪田植生の回復手法の検討を目的として、昨年度から始めたササ刈り取り実験の概要を紹介。

岩本華奈(当センター)

(2) 2024-2025 年冬の大雪を振り返る

2024-2025 年冬の大雪及びその後の春夏の状況について、白山麓やその高山域の写真や観測データをもとに紹介。

北原岳明(当センター)

(3) 並べると分かる? 雪の多い地域と少ない地域の植物に違い

雪が多い地域と少ない地域の植物の違いをオオバクロモジ、オオモミジ、ユキツバキを例に、それぞれの変種とされる種を手に取り、並べてみた。そこから見えてくる違いを紹介。

岩本華奈(当センター)

(4) 冬眠明けのツキノワグマを観察してみよう~500m 先を観察できるブナオ山観察舎~

ブナオ山観察舎は野生のツキノワグマを観察できる全国で唯一の施設。ツキノワグマがブナオ山でいつ頃からよく見えるか、山のどのあたりに見えるかなどを紹介。

近藤 崇(当センター)

(5) 白山自然ガイドボランティア第 8 期生を募集します

R8 年 2 月より、白山自然ガイドボランティア第 8 期生の募集とその概要を紹介。

川島敦仁(当センター)

(6) センターの動き

6 その他

普及誌「はくさん」は、白山自然保護センター、中宮展示館、市ノ瀬ビジターセンターなどの施設で配布。また、インターネット上で PDF ファイルを公開。郵送希望の方は住所・氏名・電話番号を明記の上、切手(110 円/冊)を送料として添えて、下記へお申込み下さい。

石川県白山自然保護センター

(住所) 〒920-2326 白山市木滑ヌ 4

(電話) 076-255-5321 (FAX) 076-255-5323 (E-mail) hakusan@pref.ishikawa.lg.jp

(URL) <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/index.html>